



令和5年度 No.2 第143号 令和5年10月30日

一般社団法人

富山県作業療法士会

ニュース

発行 一般社団法人
富山県作業療法士会
会長 齋藤 洋平
印刷 (株) チューエツ

富山県作業療法士会ホームページ <https://toyama-ot.org/>

富山県作業療法士会会員数：681人

「チーム県士会」で作業療法を伝えることが社会貢献に!!

副会長 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 桐山由利子

8月26日、富山市総曲輪グランドプラザで、「令和5年度第1回介護ロボット・福祉用具展示会」が開催されました。主催は、富山県社会福祉協議会とやま介護テクノロジー普及・推進センターです。旧名称は富山県介護実習・普及センターで、昨今の情勢を踏まえ今年度より名称が改まりました。県士会はセンターの依頼を受け、福祉機器・介護用品の展示品の審査、住宅改修・福祉機器・介護用品に関する相談、研修内容の検討、福祉用具アイデア作品コンクール審査などに参加しています。今回、ステージイベントとブース展示への声がかかり、「チーム県士会」で行ってきました。齋藤会長をはじめ、普及指導事業部員、福祉用具支援事業委員、マハウノカガミプロジェクトチームの県士会員、富山リハビリテーション医療福祉大学のOT学生が集結し、会員同士の横のつながりが見えた形でした。

ステージイベントでは、齋藤会長による「生活の困ったに備える」と題したミニレクチャーで自助具の用途が目の目を浴び、会長監修のきとっぴダンス（座って踊るやわやわ版、フレイル監修）紹介、参加者全員できとっぴダンスを披露する際はOT学生が活躍したりと、県内作業療法の活動

の一端を伝える良い機会となりました。

ブース展示では、県士会活動や作業療法内容の写真、作業療法での作品、自助具（市販品・手作り）、生活行為工夫情報（身近なものを使い生活の安全安楽な行為につながる環境調整）、自助具作り体験（ホースグリップ：ホースを切り込み、丸めて、曲げて、市販のスプーンや鉛筆を差し込む <https://scrapbox.io/nijikenji-20749324/>を参照）、「マハウノカガミ」などの研究開発機器の展示、「作業療法士が提案する自立（律）に導く生活行為の工夫事例集」の配布、などを設けました。介護職の方、業者、民生委員、親子、高齢者など60名ほどの来訪があり、皆さん気軽に話をされていました。士会員からの提案に、感動・関心・感心される様子や、「市販品は高価。手作り自助具を試したい。」との声もあり、作業療法の視点が伝わった実感が持てました。また、患って動けなくなることへの不安や、子や孫とのコミュニケーションの悩みを話す高齢者もあり、「その人の存在を大切にする」ことから作業療法が始まるのだと改めて思いました。

このような活動参加は、県士会の社会貢献の形のひとつであって、県士会活動には日々の仕事を充実させる魅力があると感じます。皆さんもできる事で「県士会活動」しましょう。（今回の様子は画像含め県士会HP上でも公開しています。なお、展示情報の詳細は主催者へお問い合わせ願います。）



とやまフレイル予防フェスタに参加してきました

生活作業療法委員会担当理事 魚津緑ヶ丘病院 中山 真一

9月30日（土）にイオンモール高岡で「とやまフレイル予防フェスタ」が開催されました。主催は富山県で、各市町村や企業・職能団体が協力して、フレイル啓発ステージ（フレイルの説明やご当地体操の紹介）、フレイル予防体験ブースが設けられ、富山県作業療法士会も予防体験ブースに出展してきました。

（ちなみに普及指導事業部、高齢者支援部会、生活作業療法委員会の合同出展です）

当士会では作業療法やフレイルに関するパンフレットを置いたり、フレイルの解説がまとめられたポスターを掲示。パンフレットを手に取り作業療法について質問して来られる方、ポスターを見て質問して来られる方など、反応は様々でした。

午前中は会場内に人が溢れる盛況ぶりだったそうですが、私が担当した14:00～16:00はかなり落ち着いた人手でした。おかげで一人ひとりとじっくりと対応することが出来ました。ポスターに書いてあることを質問されることが多かったのですが、中には『作業療法士さんには大変お世話になった。ここに来れば作業療法士さんに話を聞けると聞いた。手が痛いからどうしたらいいか相談に乗ってほしい』と10分余り身の上話をされて、笑顔で帰って行かれる方もおられました。またフレイルサポーターの方で『〇〇という作業療法士さんは今日は来っていないのか？あの方には大変お世話になった。よろしく伝えておいてくれ』と熱く語られた方や、『私が担当している地域の作業療法士さんはケア会議で実践的な目標やプログラムを考えてくれる。本当にありがたい』と感

謝の気持ちを述べてくださったケアマネージャーの方もおられました。

来場者の方々のお話から多くの作業療法士が精力的に活動している様子をひしひしと感ずることができ、とても嬉しくなると同時に大変いい刺激をいただくことが出来ました。

今回は富山県から「ぜひ作業療法士に」とご指名をいただいていた出展だったそうです。それも来場者の方々の声にあるように多くの作業療法士の努力があつてのことだと思います。その一員として恥ずかしくないようにこれからも精進していきたいと感じたイベントでした。



作業療法士体験会を通して

介護老人保健施設シルバーケア今泉 真田 美桜

令和5年7月30日(日)、8月27日(日)に作業療法体験会が開催され、普及指導部員として参加させていただきました。今年は新型コロナウイルス感染症が5類感染症の分類に移行されたこともあり、研修施設を借りて約4年ぶりに対面での開催となりました。参加者は作業療法士に興味のある高校生1～3年生で、私が参加した30日には18名の参加がありました。また、作業療法学科の学生3名にもボランティアで参加していただきました。体験会の内容としては日本作業療法士協会作成の概論動画の視聴、コグニサイズ体験やソックスエイドの作成、自助箸を使用した豆つまみリレー、グループに分かれた座談会、富山県内の学校紹介が行われました。

概論動画の内容としては身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害の各領域の作業療法士の取り組みの紹介がありました。動画はとても分かりやすく、実際に働いている私自身も作業療法士の魅力や良さを改めて感じることができた動画でした。

コグニサイズ体験やソックスエイド作成を実際に行なったり、自助箸リレーでは、利用者の気持ちになって使用感を感じてもらうことで、高校生からは「楽しく作業療法士の仕事を知ることができた」や「さらに興味を深めることができた」との感想が聞

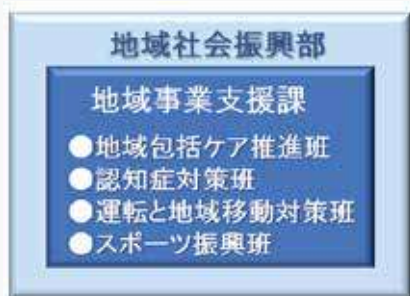
かれました。自助箸リレーは、グループ対抗のゲーム形式で行ったことで、どの学生も取り組みやすく、楽しい雰囲気が流れていました。

座談会では、高校生4名、学生1名、作業療法士2名のグループに分かれ、高校生からの質問や疑問、心配なことについての話し合いが行われました。質問としては、作業療法士になろうとしたきっかけや、大学や専門学校等の学校選択、勉強は大変なのか、など様々な話が飛び交いました。実際に臨床で働いている作業療法士や、学校に在学中の学生が回答することで、高校生にもより分かりやすく伝わったのではないかと思います。

今年度は対面での体験会を開催でき、前々年度、前年度のオンラインでの開催と比べ、高校生の反応や言葉を直接聞くことができて良かったです。また、高校生からの感想として「実際に現場で働いている作業療法士の話を聞いて良かった」「直接聞くことで更に仕事内容のイメージが持てた」などの感想も多くありました。この体験会を通して、作業療法士という職種や仕事について少しでも知ってもらえたのではないかと思います。今後もこのような場を通して作業療法士の魅力を普及できるよう活動していきたいと思っています。



地域社会振興部が新設されました



昨年度までは地域包括ケア推進委員会として活動しておりましたが、今年度より、地域社会振興部が新設されました。それに伴い、旧委員会は地域包括ケア推進班として活動することとなりました。新たに示された地域共生社会5か年戦略のスローガン「人々の活動・参加を支援し、地域共生社会の構築に寄与する作業療法」を目指し、重点活動項目と第四次5か年戦略関連活動を積極的に進めていく方針です。

今年度の重点活動項目として、OT 参画のための市町村担当者設置事業、協会一士会連携・士会間連携(ブロック機能)事業、「保健事業と介護予防の一体的実施」参画事業、そして第四次5か年戦略関連活動として、短期集中型サービス以外の医療から地域(在宅)への取り組み促進事業、「短期集中型サービス」の参画促進事業、地域事業参画推進のための士会マネジメント事業、「重層的支援体制整備事業」の実態を把握と参画推進事業等を、部員23名体制で進めて参ります。

第1回地域事業支援会議開催

今年度第1回目となる会議は、2023年6月23日(金)の19時から、オンラインで開催され、全国から多くの作業療法士が参加しました。当県士会からは、大平正和(あさひ総合病院)、中山真一(魚津緑ヶ丘病院)、佐賀真也(ソフィアメディ訪問看護ステーション射水サテライト高岡)、福田恵津子(公立南砺中央病院)、谷口ほ(済生会高岡病院)が参加しました。

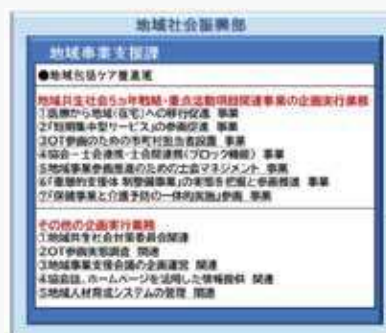
会議では、新体制の報告と7つの重点活動項目とその他の実行业務について説明がありました。

富山県士会はCブロック



ブロック別のグループワークが開催され、富山県士会はCブロックの所属となりました。協会の担当部員は、新名さん(徳島県)と高多さん(石川県)でブロック内の話し合いでは、主に今後の協会一士会連携について、協会からの情報をいかに士会、士会員に伝達するかを話し合い、各士会の伝達方法を確認しながら、いい方法を各士会持ち帰り検討するなどの協議がなされました。

協会からの伝達方法として、広報誌の活用やニュースレターの活動などを取り入れ、会員に情報発信を行っていきとありました。今後は、ブロック会議や地域事業支援会議等を通じて情報を共有していきたいと思ひます。



作業療法士は地域共生社会を理念で終わらせない

「ともに〇〇」をキーフレーズに、障害がある方もない方も、子どもも大人も、みんなが笑顔で暮らしている社会をイメージし、書かれたポスターです。ポスターの最後には「作業療法士は、地域共生社会を理念で終わらせない」と強い意志を表しています。このポスターを見た方が「こんなあたたかい街がいいな」、「私も地域社会をともにつくりたいな」と心に誓う……などということがあれば、うれしい限りです。



編集後記

新たな部の新設と今年度初めてのキックオフ会議でした。今まで参加されていた顔ぶれから初めての方まで、活気あふれる議論の中、無事に第1回の会議を終えることができました。全国の参加者の活気に負けないように、我々生活作業療法委員会も積極的に取り組んでいこうと思ひます。今後ともご協力よろしくお願ひいたします。生活作業療法委員会 委員長:佐賀真也

生活作業療法委員会だより

佐賀委員長からの メッセージ

当委員会は、地域・行政との連携強化や日本作業療法士協会の取り組み報告、士会員が安心して地域で活動できるよう各医療圏域毎のOT同士の顔の見える関係性作りや人材育成などに力を入れています。

生活作業療法委員会だよりでは、所属する地区のOTの発信を通して自分の地域での活動に興味を持ったり、地域の作業療法が少しでも身近なものに感じてもらえたりして頂ければ幸いです。今回は新川地区です。橘さんお願いします！

新川地区代表 橘 一希

生活作業療法委員会の新川地区代表をさせて頂いております丸川病院の橘です。地域アドバイザー委員会から生活作業療法委員会に名称が変更され、気持ちを新たにに取り組んでいます。

私は今年でこの委員会のメンバーになって4年目です。この委員会に参加する前は自院で地域支援事業参加する事になり、私もメンバーに選ばれました。地域活動に興味があったものの右も左も分からずどうすればいいか不安もありました。そんな時、この委員会から声をかけていただき、一員として加わりました。委員会を通して地域活動を学び、地域との繋がりを築いています。今回は委員会の活動を紹介したいと思います。

毎年新川・富山・高岡・砺波の各地区と委員会全体として支援事業の実践的な研修会や症例報告、地域を学ぶ研修会を企画しています。新川地区では昨年度、介護予防教室と地域個別ケア会議の実践報告と座談会を行いました。新川地区委員には地域活動参加者も多く、日頃の地域活動での悩み相談や介護予防教室での関心の高いテーマ、ケア会議参加の為に各施設取り組み方などざっくばらんに話し合い、次の地域活動に役立つ内容で有意義だったとの声が多く聞かれました。

また、委員会の活動の中では各地区の委員一人一人が市町村や地域包括支援センターに介護予防やOTのPRパンフレットを持参し、行政や包括を訪問しています。普段病棟で勤務しており、あまり地域とのつながりはありませんでしたが、訪問する事で「顔の見える関係づくり」をする事で、「次の〇〇教室の講師をおねがいできませんか?」「パンフレット活用できていますよ。次年度もお願いします」とお声を頂き距離が縮まっていることを実感しています。

当院にご依頼いただいた認知症予防教室ではコゲニサイズとランプシェードづくりを行いました。最初は戸惑っていた参加者も徐々に笑顔が増え、「楽しかった」「家でもやってみちゃ」との嬉しいご意見を頂き、作品も次の介護イベントの際に展示する事となりました。委員会で学んだことを糧に地域に少しは貢献する事ができたかなあと少し自信になりました。

地域活動では介護予防教室や地域ケア会議、認知症カフェ、集いの場の支援や家族介護支援など多岐にわたり作業療法士が活躍できる場があります。地域活動に興味がある・参加してみたいと思われる方に合った地域の力になる自分の形があると思います。是非一緒に地域で活躍できる作業療法士をめざしましょう！！

生活作業療法委員会からのお知らせ

現在、地域での活動に関する実績集約を行っております。HP上の県士会活動関連の「地域リハ活動支援事業講師派遣実績入力ページ」をクリックすると、＜直接入力アンケートページ＞がありますので、そちらより入力をお願いします。なお、活動状況の閲覧も可能です。閲覧にはIDとパスワードの入力（いずれも[tiiki]）が必要です。ご協力よろしくお願いいたします。

当院は2021年5月に射水市小杉地区に開業した整形外科クリニックです。まだ新しく綺麗なクリニックに毎日、身体の痛みや痺れに困った多くの患者様が来院されています。院名が「脊椎」「スポーツ」となっていることで患者様から「腰とか背中しか診てもらえんかと思った」や「スポーツクリニックやから年寄りやダメで若者しか行けんところやと思っとった」とのお声をいただくこともあります。実際は「老若男女どこの部位でも幅広く」対応しています。今回はそんな当院の特徴をいくつか紹介させていただきます。

当院の特徴 ①

院長が整形外科一般はもちろんのことスポーツ整形やトレーニング方法に精通しており、部活動に励む中高生やその保護者の強い味方となっています。（リハビリ室にはストレッチポールやジムさながらのスミスマシンなどもあります）

当院の特徴 ②

骨折に対する超音波治療機を複数台用意しており、手足を骨折した患者様や若年層における腰椎分離症の方などの早期の社会復帰、競技復帰を支援しています。

当院の特徴 ③

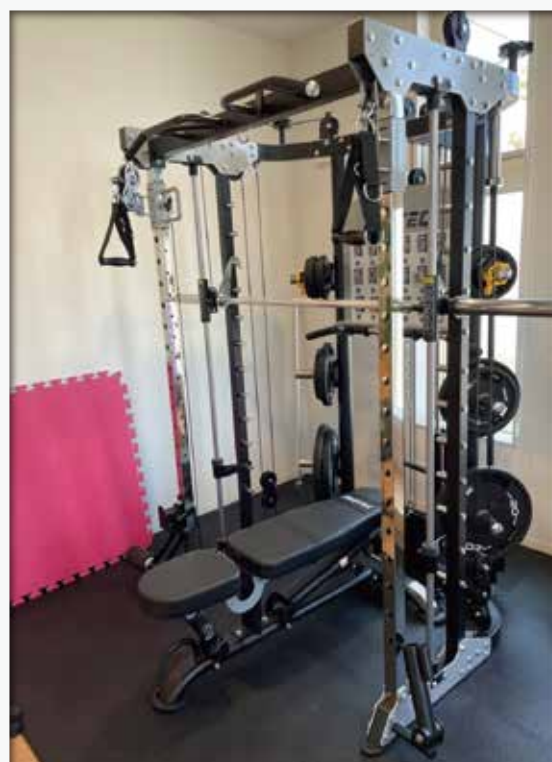
時間や頻度が限られた外来リハビリという点において「自宅でのセルフエクササイズ」の重要性を患者様に理解していただき、ストレッチやトレーニングの指導にも力を入れています。院長自らはもちろん、リハビリスタッフも患者様の状態に合わせた運動指導を積極的におこな

っています。また、自宅や職場など1日の大半を過ごす場所の環境設定などの助言もおこなっています。

リハビリスタッフは現在、PT3名、OT1名が在籍しており、骨折や靱帯損傷などの外傷や肩・腰・膝の変性疾患などに対応しています。患者様の疾患や症状、年齢などが幅広く、それぞれのニーズに合ったリハビリを提供できるよう、日々研鑽に励んでいます。

2025年問題が目前となり、今後は整形外科クリニックの需要は高まっていくと考えられます。

患者様やご家族の方に「このクリニックを選んで良かった」「〇〇さんにリハビリしてもらえて良かった」と感じていただけるよう、スタッフ一同精進していきたいと考えています。





アルペン
リハビリテーション病院

谷口 優

県士会の皆様こんにちは。
市立砺波総合病院の南さん
からバトンを受け継ぎ、今
回のコラムを担当させてい
ただきます。アルペンリハ
ビリテーション病院の谷口
優です。よろしくお願いいたします。

今回は私が今年始めたこ
とについて書かせていただ
きます。

私は今年の年始に「今年
やりたいこと100」を書
き出しました。100個考えることは容易ではあ
りませんでした。初めは順調でしたが次第にネ
タが尽きました。内容が類似していても人や場
所を変えて個数を稼ぎ、仕事から趣味に関する
多岐にわたる内容を挙げました。中には達成で
きないだろうと思いながら希望を込めて書いた
内容や、達成と判断することが難しい内容があ
りました。これを始めたきっかけは職場の方か
ら話を聞いたことです。何か目標を持っている
人は不思議とすごく素敵に見えます。私の休日

は1日中家に籠ってダラダラと過ごすことが多
いです。やりたいことをいくつか可視化するこ
とで何か行動を起こすきっかけを作ることがで
きると思い年始に書いた次第です。

さて気になるのはやりたいことを達成できて
いるかです。このコラムを書いている8月時点
では30個達成し4個失敗しました。ペースと
しては若干遅い気がしますが、希望を込めて書
いた内容も達成できていることに驚いています。
協力していただいた友人や同期に感謝です。

職場の先輩に「目標や夢は人に話なさい」と
夢を叶えるためのお言葉頂いたことがあります。
今回のやりたいことを言語化する行為は類似し
たところがあるのではないかと考えます。書き
出したことで、ふとした時に内容が想起され行
動を起こすことが多くなりました。また決断時
の迷いが少なくなったと実感しています。下半
期も残りの項目を達成できるように行動してい
きたいと思います。

今回受け取ったバトンは仕事・勉強仲間の藤
平美結さんに渡したいと思います。お願いしま
す。



福寿園福野
デイサービスセンター

野原果鈴

県士会の皆様こんにちは。
介護老人保健施設レインボ
ーの奥村美里さんからリレ
ーのバトンを受け取り、今
回のコラムを担当させて頂
きます。福寿園福野デイサ
ービスセンターに所属して
いる野原果鈴と申します。

学校を卒業後、現在の施
設に所属しました。所属し
た当初は、開始前であり、
リハビリ職員が私一人で、
はじめの一年程は、南砺市民病院の齋藤洋平さ
んをはじめ沢山のリハビリ職員の方々に研修で
お世話になりました。研修期間中は、急性期～
回復期、デイケアと回復段階に合わせたリハビ
リや疾患によるリスク管理、家屋調査等を学ば
せて頂きました。また、研修中に通所リハビリ
特化型に向けての会議やリハビリ機器の準備に
携わらせて頂きました。そして、令和3年4月
から現在の形の福野デイサービスセンターが始
動しました。病院研修で学んだことを少しでも

今の職場で活かせるよう取り組んでいます。

利用者様の困りごとに対しての原因分析やリ
ハビリ方法などについて悩むこともあります。
利用者様と相談しながらリハビリを行うことで
利用者様や家族様からリハビリを通してできる
ことが増えたことに対する喜びの声が聞けると
私も嬉しい気持ちになります。利用者様と一緒
に悩んだり喜んだりできる部分にやりがいを感じ
、この仕事をしていてよかったなと思います。

話は変わりますが、私は最近、利用者様から
自宅でも体操や散歩、ストレッチを毎日継続し
て頑張っているという話をお聞きし、感化され
自分の運動不足解消も兼ねて早起きをして愛犬
と一緒に散歩することやストレッチをすること
を頑張っています。また、自身の取り組みにつ
いて利用者様に語ることで、自宅で運動ができ
ないという利用者様が運動を始めるきっかけに
なったり、継続した取り組みに繋がればいいな
と考えています。

最後に、次のバトンは老人保健施設アルカデ
ィア氷見に所属している大杉真優佳さんにお渡
したいと思います。よろしくお願いします。

新入会員の横顔

1. 氏名
2. 所属施設
3. 出身校または前所属の施設
4. 趣味・特技
5. 富山のおすすめスポット
6. OTとして働いてみての感想
7. 今後チャレンジしたいと思っていること



1. 畠山 優乃
2. 富山大学附属病院
3. 金城大学
4. パン屋さん巡り
5. 環水公園
6. 知識・技術不足を痛感していますが、患者様との関わりは楽しく、毎日やりがいを感じています。
7. 様々な疾患の患者様と関わり、知識や技術を身につけていきたいです。



1. 山崎 真凜
2. 富山大学附属病院
3. 富山リハビリテーション医療福祉大学校
4. 書道
5. 富山市ファミリーパーク
6. 教科書では学ばないことが多くあり、毎日勉強の日々です。
7. 新たに自分の強みを活かせる資格の取得を目指したいです。



1. 渡辺 由莉
2. 南砺市民病院
3. 金城大学
4. 音楽を聴くこと・ライブに行くこと
5. 富山県美術館
6. 毎日学びの日々で、大変なことも多いですが、
- OTとしてできる事を頑張りたいと思っています。
7. 手技を身につけてみたいです。



1. 小川 愛
2. 富山県リハビリテーション病院・子ども支援センター
3. 金沢大学
4. 景色の良い場所に出かけること
5. 雨晴海岸
6. まだ分からないことばかりなので、毎日成長できるように頑張りたいです。
7. VRを使用したリハビリに関する知識を深めたいと思っています。



1. 古川 愛純
2. 丸川病院
3. 富山リハビリテーション医療福祉大学校
4. ベーグル作り、旅行
5. 八十神、ホルモン幹
6. OT



1. 藤森 真依
2. 射水市民病院
3. 富山リハビリテーション医療福祉大学校
4. 映画・ドラマ鑑賞
5. チューリップ公園
6. 日々自分の知識・技術不足を痛感しています。しかし、先輩方に支えて頂きながらも患者様からの感謝の言葉を糧に頑張っています。
7. 経験を積み知識・技術習得を身につけていきたいです。



1. 植田 寛
2. 富山西リハビリテーション病院
3. あさひ病院（愛知県）
4. ゴルフ、料理
5. 氷見海浜植物園
6. 関わる人や環境が変化したことで、改めて自分の知識や技術を見つめなおす機会になっています。新たに学ぶことも多く充実した日々を過ごしていると思います。
7. いか釣り



1. 吉澤 泰輝
2. 光ヶ丘病院
3. 富山リハビリテーション医療福祉大学校
4. 筋トレ、サウナ
5. 称名滝
6. 患者さんにとって何が必要で、どのように接したらいいかなど、毎日が試行錯誤の日々で成長を実感しています。
7. 興味のある分野の資格獲得



1. 新鞍 拳吾
2. 富山県リハビリテーション病院・子ども支援センター
3. 富山リハビリテーション医療福祉大学校
4. 運動
5. 環水公園
6. 自分の力不足を痛感する毎日ですが、先輩方や同期の皆さんに支えていただきながら、日々やりがいを感じております。
7. たくさん旅行に行きたいです



1. 橘 蒼生
2. 医療法人財団五省会 西能みなみ病院
3. 富山リハビリテーション医療福祉大学校
4. 最近釣りを始めました
5. 氷見番屋街
6. 実際に働いてみると自分の知識・技術不足を痛感

しました。これからたくさんの経験を積み、患者さんに生きがいや自立した生活を提供できるよう日々努力していきたいです。

7. 筋トレ



1. 早瀬 華
2. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
3. 群馬大学
4. ゲーム
5. 富山大橋
6. 大変なことばかりですが、毎日勉強になります。
7. 全大陸制覇



1. 犀川 彩有
2. 光ヶ丘病院
3. 富山リハビリテーション医療福祉大学校
4. 旅行、映画、スポーツ観戦
5. 東福寺野俱樂部
6. 患者様との関わりが楽しく、やりがいを感じています。これからも様々な

経験を積み、患者様に安心してリハビリを任せて貰えるよう日々精進します。

7. 専門的な知識を身につける為に、研修等に積極的に参加したいです。



1. 木村 元哉
2. 金沢医科大学氷見市民病院
3. 富山リハビリテーション医療福祉大学校
4. 音楽鑑賞、犬と散歩
5. 放生津八幡宮
6. 多くの患者様と関わり、一人一人違う悩みを抱え

その人らしさを支援することの難しさを実感しています。

7. 研修会の参加、ジムに通う

第21回富山県作業療法学会より

お知らせ

今年度の学会では「共に考え、共に創る、新時代の作業療法」をテーマに、富山南地区（通称チーム富南）で多様性を尊重した新しい学会の形を検討してきました。

特別講演やシンポジウム、一般演題発表をはじめ、教育講座、技術講座、体験ブース（eスポーツ等）、マルシェ（パン販売等）など思わず足を運びたくなるような企画を予定しています。いつも参加して下さっている会員の皆様はもちろん、今回は、育児でなかなか参加しにくいパパ・ママが、気軽に少しの時間でも参加できるような学会にしたいという学会長の想いも企画に取り入れ、鋭意準備進行中です。

**X (旧Twitter)
始めました！**

第21回県学会のX始めました！学会長のつぶやきや学会の進捗状況更新中「第21回富山県作業療法学会」をフォローしてください。

盛りだくさんの企画を準備して、皆様のご参加をお待ちしております！

是非、**令和6年2月25日(日)は サンシップとやまへ！**

会員異動等

種別	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
異動	苗加 愛実		アルペンリハビリテーション病院	
異動	島谷 愛弓		アルペンリハビリテーション病院	

令和5年度 第3回理事会

日時：令和5年7月20日（木） 19時より

ZOOMによるWEB会議にて開催

出席者：齋藤、桐山、島津、吉波、渡邊、大平、丁子、
安本、能登、堀口、中山、塚田、水島、能登、
中川、小倉、森

欠席者：松岡

《報告事項》

1. 県士会関連事業
 - 1) 7月12日未明の豪雨災害発生後の対応について
 - ・7月13日17時30分 メーリングにて状況調査。4名より何らかの被害報告あり。1名業務停止の事業所あり、支援有無を確認し不要との返答。
 - ・お見舞い文章をホームページに掲載。
 - ・今後、地震以外の水害発生時等の支援について災害リハビリテーション委員会で対応検討。
 - 2) 教育部・生涯教育部
 - ・臨床実習指導者講習会 7月29日・30日 Zoomにて開催予定
 - ・現職者研修 7月、8月の平日夜にオンラインにて開催予定。
 - 3) 富山県作業療法学会
 - ・2月25日 開催予定
 - 4) 高校生体験会
 - ・7月30日 マスコミ等対応 渡邊理事
 - ・8月27日 マスコミ等対応理事 調整中
 2. 富山県関係事業への対応
 - 1) リハビリ専門職協議会
 - ・事務局会議開催
 - 2) 富山県介護ロボット協議会関連
 - ・8月26日 総曲輪フェリオにて介護ロボットのイベント（確定）。※ポスター添付
- 富山県 作業療法士会から、タイトル「生活の困ったに備える」で40分間講演。
福祉用具紹介、介護予防体操等（齋藤、福祉用具メンバー）、理学療法士会、言語聴覚士会からも出展およびステージ登壇。
青池学園OT学科および中川理事参加
8月21日14時より富山市にてダンス練習。NHK取材あり。
- 3) 富山県フレイル啓発イベント
 - ・9月30日 土曜日 終日：普及指導部、高齢者支援部会、生活作業療法委員会より出展
 - ・1ブース2万円の報償費（仮）
 - ・健康と長寿の祭典イベントなど参考に関係部局で今後、打ち合わせ予定。
 - 4) 県内出身代議士との面会
 - ・7月10日：田畑代議士と40分面談。JICA、福祉用具の資料提示。作業療法士の課題について
 - ・OT協会より、県内選出議員との面談するようとの依頼あったが、田畑代議士と面談後。
 - ・7月30日 福祉懇話会の案内、秋に座談会の提案あり
 - ・富山県OT連盟窓口、塚田理事
 3. 東海北陸ブロック事業
 - 1) 北陸3県MTDLP事例検討会
 - ・令和5年度より、計画から3県で行いたいとの申し出あり。能登理事、山本委員長が協力予定。
 4. 協会関連事業
 - 1) よんばち
 - ・9月9日～10日 現地およびオンラインにて開催。齋藤出席予定。その他1～2名。
 - 2) 協会員＝県士会員促進に向けて
 - ・説明用資料作成
 - ・協会、県士会の会員情報の突き合わせ作業 神奈川氏

《検討事項》

- 1) 事務局
 - ・県士会 定款施行規則、講師接待経費補助規程についての講師飲食代、会議費を検討。

令和5年度 第4回理事会

日時：令和5年8月17日（木） 19時より

ZOOMによるWEB会議にて開催

出席者：齋藤、松岡、桐山、島津、吉波、渡邊、大平、
丁子、安本、能登、堀口、中山、塚田、能登、
中川、小倉、森

欠席者：水島

《報告事項》

1. 県士会関連事業
 - 1) 災害委員会
 - ・災害、豪雨等発生後の対応について資料添付①地震災害の基準変更、②風水害災害の新規基準設定、③大規模災害の伴い「災害対策特別委員会の設置」、④被害状況安否確認は委員長から発信する（発信や返信収集は委員長以外も可能に設定）。
 - ・被災者への県士会の対応（案）県士会費の免除、見舞金支給、ボランティアが考えられるが審議継続。
 - ・9月JIMTEF研修会あり
 - 2) 教育部・生涯教育部
 - ・現職者研修会終了（7/24～7/27）受講30名。部員の協力が少ない（課題）。
 - ・実習指導者講習会終了（7/29・7/30）受講27名。通信トラブル以外に問題なし。県士会全体で200名以上が受講済み。実習は、県内全域バランスよく実施できるようにしたい。
 - ・今後の予定 8/28・8/30・9/1現職者共通研修会、9/2MTDLP基礎研修会MTDLP北陸3県合同研修会の代表者会議（能登理事、山本部長が参加予定）
 - 3) 富山県作業療法学会
 - ・進捗状況の確認 9月1日から演題募集予定
 - ・企業展示に関する問い合わせあり（イワツキ株式会社）会場サンシップの確認が必要。県士会は規定なく受け入れ可能、他の企業展示誘致も検討。
 - 4) 高校生体験会
 - ・7月新聞掲載あり。8月27日開催予定（島津事務局長対応）。
 - 5) 福祉用具
 - ・10月28日研修会の講師謝金について。講師は作業療法士であるが、特別基準を採用することとし、設定根拠は2時間10割額。事業所への支払いのため、源泉徴収せず支払い。資料添付。→理事会承認
 - ・令和5年度 補装具費支給制度 書面ヒアリングについて回答。桐山氏。
 - 6) 広報用ジャケット
 - ・ジャケット10枚入手。ロゴがねんりんピックのため、加工が必要。サイズは全てLかLL相当。使用するのであれば、9月以降のイベントで使用。
 - ・呉東、呉西で5着ずつ保管予定。
2. 富山県関係事業への対応
 - 1) リハビリ専門職協議会
 - ・PT、OT、ST3職種が関連する事業は協議会で受けることとする（研修会や講師依頼など）。
 - ・「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」事業の情報交換会予定（9月13日安本理事参加予定）。
 - ・今年度より災害対策委員会が活動。8月5日会議（大平理事、高林委員長出席）
 - 2) 富山県介護ロボット協議会関連
 - ・8月26日 主催者より弁当のみ支給。ブースにて作品展示。青池学園OT学科および中川理事、普及指導部2名当日参加。福祉用具委員による自助具展

示。8月21日14時より富山市にてダンス練習。
NHK取材あり。齋藤出席。

- 3) 富山県フレイル啓発イベント
 - ・メールのみでのやりとりで詳細未定。市町村に送られた資料添付。
 - ・高齢福祉課より：弁当なしで報償費は1ブース2万円（未確定）。その他マニュアルに沿って開催。
 - ・普及指導部（リーフレット準備）、高齢者支援部会（活動報告、活動事例準備）、生活作業療法委員会（フレイルとはの説明準備）より出展予定。8/21各部会の代表者で打合せ予定。
3. 東海北陸ブロック事業 なし
4. 協会関連事業
 - 1) よんばち
 - ・9月9日～10日 ハイブリッドにて開催。齋藤会長・塚田理事出席予定。その他1名。資料添付
 - 2) 認知症事業
 - ・OT協会より、令和4年度下半期の活動について資料作成依頼あり。8月25日まで提出。安本理事。
 - 3) 訪問リハ
 - ・8月26日 地域リーダー研修会 四十物氏出席。

＜検討事項＞

- 1) 事務局
 - (1) 県学会に関する、参加費、開催時期について
 - ＜参加費＞ 徴収する
(金額は、非会員の額も含めて要検討)
 - ＜学会担当地区の順番＞
2023年度富山南→高岡→富山北→砺波→新川。次年度は高岡地区。
 - ＜時期＞
2024年度以降、事業の効率性や参加者数を増やすため、大きな学会と同様に、総会と県学会を併せて開催できるかも検討。
 - ＜その他＞
他の学会で発表した演題を県学会で発表する場合は、内容をブラッシュアップする必要がある。倫理審査を通すなど倫理的な配慮について募集要項で周知する必要あり。
 - (2) 県土会で医療監査情報を共有することについて
(中山理事より)
 - ・県土会として情報の共有困難
 - ・医療報酬や介護報酬について、県土会を通じて協会へ、協会から厚労省へ質疑等
 - (3) のぼり旗（県土会備品）の管理について
 - ・備品の所在管理が必要。必要頻度の高い部で管理可能。
 - ・次年度、のぼり旗については使用頻度の高い部で新規購入するか部内で審議必要。（総務での管理は難しいため部会で管理できることが必要。）

令和5年度 第5回理事会

日時：令和5年9月21日(木) 19時より

ZOOMによるWEB会議にて開催

出席者：齋藤、松岡、桐山、島津、吉波、渡邊、大平、丁子、安本、堀口、中山、塚田、水島、能登、中川、小倉、森

欠席者：能登

＜報告事項＞

1. 県土会関連事業
 - 1) 災害委員会
 - ・9月25日 災害訓練。JIMTEF 9月分は参加者なし。
 - 2) 教育部・生涯教育部
 - ・現職者共通研修(3テーマ)8/28、30、9/1zoomにて開催 それぞれ30名弱の参加者あり。参加者数

はやや増加。何名か県外講師に依頼していることもあり、問題がなければ、今後もzoomでの開催希望

- ・MTDLP基礎研修（対面）：9/3（日）19名参加
 - ・現職者選択研修（老年期） 11/25 zoomにて
 - ・現職者共通研修（事例検討・報告） 12/16AM zoomにて
- 3) 富山県作業療法学会
 - ・進捗状況の確認。9月より演題募集開始し、4演題。理事、監事からも応募の声掛け。
 - ・企業展示は物販ないため出展可能。
 - ・協賛など確認。
 - ・次回、高岡地区学会会長候補 藤井氏（氷見市民病院）に齋藤会長より依頼。
 - 4) 普及指導部
 - ・高校生体験会：8月開催。富山リハ大学の学生協力あり。
 - ・9月30日：富山県フレイルイベント。のぼり旗→渡邊理事回収。認知症パンフレット。活動紹介は、齋藤氏準備。クリアファイル、OTパンフレットは齋藤氏準備。フレイルの説明は、齋藤氏準備。印刷発注の状況→生活作業療法よりパンフレット発注。100部ずつ3種類。
 - ・10月8日 ほたるいかマラソン。のぼり旗は安本氏に渡して設置。
 - 5) 運転と作業療法
 - ・パンフレットの確認と使用方法について
 - ・出展元を個別に記載。ホームページなどに掲載。
 - ・問い合わせ窓口：会員および所属先への連絡。または、土会事務局を窓口として転送し、ホームページに返答を記載。
 2. 富山県関係事業への対応
 - 1) リハビリ専門職協議会
 - ・日当：事業終了毎に議事録、参加者名簿提出。3月20日までに報告書、名簿を土会に送付し、総務から協議会OT委員の代表へ支払い（3月20日までに）。代表が委員へ支払い。協議会より土会に支払い。4時間未満1,000円。4時間以上2,000円。3月20日までに協議会より入金
 - 2) 富山県介護ロボット協議会関連
 - ・8月26日 イベント協力。富山リハ大学校、福祉用具、普及指導部、ロボット協議会委員参加
 - 3) 富山県フレイル啓発イベント
 - ・メールのみでのやりとりで詳細まだ未定。今週中に詳細な案内が届く予定。
 - ・普及指導部（リーフレット準備）1名参加、高齢者支援部会（活動報告、活動事例準備）岡田氏、生活作業療法委員会（フレイルとはの説明準備）佐賀氏、中山氏 出展準備、参加予定。
 - ・10時から12時20分 普及指導1名、岡田氏。12時20分から14時40分熊南氏、佐賀氏。14時40分から17時中山氏、普及指導1名。終日、齋藤サポート。
 3. 東海北陸ブロック事業
 - 1) 東海北陸学会
 - ・座長：森氏、護摩堂氏（仮）、日当支給の確認。
 - 2) 北陸3県MTDLP事例検討会
 - ・打ち合わせ 9/21 zoomにて山本部長、能登参加予定
 - 3) リーダー研修会
 - ・11月に静岡県で開催。日が迫っており、10月理事会にて決定。
 4. 協会関連事業
 - 1) よんばち
 - ・9月9日～10日 ハイブリッドにて開催。齋藤出席。資料は事前送付済。
 - 2) 認知症事業
 - ・OT協会へ活動報告。ホームページ掲載。
 - 3) 訪問リハ
 - ・8月26日 地域リーダー研修会 四十物氏出席。

4) OT連盟

- ・10月7日 田畑代議士、田中代議士との研修会あり。山本会長より参加するようにとの連絡。安本理事、齋藤他出席予定。
- 5) 令和5年度地域保健総合推進事業で開催する研修会
 - ・塚田氏 出席。事前情報集積について。

《検討事項》

- 1) 賛助会員について
 - ・定款施行規則に追記すべき

編集後記

長かった暑い暑い日々も落ち着きを見せ、ようやく過ごしやすい時間が出来ました。季節も秋となり、何をするにも良い季節になってきた様に思います。スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋…色々な秋がありますが、皆さんはどのように過ごされる予定でしょうか。日々の業務から日常生活上の雑務まで様々な事に時間を取られてしまい、なかなかその様な事を考えられなかったり、ついつい自身の時間を取り忘れる方もおられるかと存じます。是非出来る範囲で時間を作って頂き、今年残り約3ヶ月を後悔のないよう、皆様にとっての「～の秋」を楽しんで頂けると幸いです。

賛助会員名簿

(順不同)

会 員 名 (代表者)	住 所
学校法人金城学園 金城大学 医療健康学部 (学長 米島 學)	〒924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400
医療法人社団いずみ会 (理事長 大西 仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 TEL 076-425-1166
富山リハビリテーション 医療福祉大学校 (理事長 青池 浩生)	〒930-0083 富山市総曲輪4丁目 4番5号 TEL 076-491-1177
株式会社 富山県義肢製作所 富山県補聴器センター (代表取締役 森田 忠浩)	〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16 TEL 076-425-4279
ライフ・クリエイト株式会社 (代表取締役 北野 満) リハビリ・デイサービス おやべ リハビリ・デイサービス たかおか リハビリ・デイサービス となみ	〒932-0814 小矢部市赤倉207 TEL 0766-67-2001

一般社団法人 富山県作業療法士会事務局より

メーリングリスト登録のお願い

現在、メールを通じて、ホームページや施設宛ての発送以外に多くの情報を配信しています。これまでに、多くの会員の方に登録していただきました。登録がお済でない方は、登録をお願いします。

■対象

一般社団法人 富山県作業療法士会会員

■配信内容

- 協会や県士会が主催する研修会の開催や変更に関するお知らせ
- 作業療法に関する情報（制度改定や最新情報等）
- 災害時の緊急連絡や情報提供
- 協会や県士会からの事務的な連絡
- その他作業療法に有用な情報 等



富山県作業療法士会
会員ML(メーリングリスト)登録
<https://forms.gle/o9XmsZc8cK7yyG8XA>

